

2016 にかほ市の 主な出来事

- ◆ 1月 大森で5年ぶりの嫁つつき①
- ◆ にかほ市成人式②
- ◆ 白瀬中尉をしのぶ集い・雪中行進
- ◆ 2月 掛魚まつり
- ◆ 3月 「にかほつと」プレオープン
- ◆ 4月 「にかほつと」グラウンドオープン③
- ◆ 熱回収施設「環境プラザ」火入れ式(2基焼却炉初点火)④
- ◆ アナコートの市市長らが来市(交流20周年記念パーティや植樹を開催)⑤
- ◆ 5月 第9回TDK旗争奪学童野球大会⑥
- ◆ 第17回TDK山崎貞一杯争奪少年サッカー選手権大会⑦
- ◆ チャレンジデー2016⑧
- ◆ 6月 第21回秋田草刈唄全国大会inにかほ⑨
- ◆ ねんりんピック秋田2017にかほ市実行委員会設立総会
- ◆ 7月 第29回秋田トライアスロン芭蕉レース象潟大会⑩
- ◆ 第27回日本海に響け!太鼓の祭典⑪
- ◆ 米国シヨウニー市から中学生ら10人が訪問
- ◆ 米国アナコート市から中学生ら13人が訪問
- ◆ 第33回奥の細道象潟全国俳句大会
- ◆ 8月 白瀬南極探検隊記念館入館者数70万人達成⑫
- ◆ 9月 鳥海山・飛島ジオパーク構想が日本ジオパーク認定⑬
- ◆ 「いちじくいち」初開催⑭
- ◆ 10月 日本海沿岸東北自動車道遊佐象潟道路着工式ならびに安全祈願祭⑮
- ◆ 11月 フェライト子ども科学館入館者数90万人達成⑯
- ◆ 市民文化祭2016⑰
- ◆ 池田修三木版画展「まちびと美術館 ゆこうよ」⑱
- ◆ 「にかほ市」大物産展(東京都)
- ◆ にかほ市ふるさと会(東京都)



9月、待望の「日本ジオパーク認定」の吉報が入りました。「日本海と大地がつくる水と命の循環」というテーマをきっかけ、平成26年度から、酒田市、遊佐町、由利本荘市とともに、日本ジオパーク認定に向けてのプロジェクトを進めてきた鳥海山・飛島ジオパーク構想が実を結んだ、まさに歴史的な瞬間でした。

9月下旬には、旧小出小学校を会場に「いちじくいち」が開催され、2日間で延べ5,000人を集客し、盛り上げをみせました。

10月16日、日沿道の秋田県と山形県の県境区間を結ぶ遊佐象潟道路の建設着工を祝う式典と、工事期間中の安全を祈願する神事が執り行われました。山形県と秋田県の架け橋として、この遊佐象潟道路の早期開通が期待されます。

11月にはフェライト子ども科学館の入館者が開館18年目にして、90万人を突破しました。

また、「まちびと美術館 ゆこうよ」が象潟公会堂などを会場に行われ、池田修三作品に大勢のファンが魅了されました。市民の皆さんにとってはどのような年であったでしょうか。

今年はいよいよ五輪が行われ、多くのアスリートから感動をもらいました。次の開催地である日本も多いに盛り上がりを見せました。

にかほ市ではどんな1年だったのか振り返ってみましょう。

穏やかで雪のない正月でスタートした2016年1月、5年ぶりに象潟町大森地域の伝統行事「嫁つつき」が行われ、近隣住民や多くのマスコミで賑わいました。

交流人口拡大による地域活性化を目指し、道の駅ねむの丘の隣に、にかほ市観光拠点センター「にかほつと」が4月9日にグラウンドオープンしました。式典には佐竹知事をはじめ多くの来賓や関係者がかけつけオープンを祝いました。同じく21日、にかほ市の新しいごみ処理施設「環境プラザ」の火入れ式が行われました。環境学習の拠点としての機能も備え、「リデュース、リユース、リサイクル」の3Rを学習する機会を提供し、見て、聞いて、触れて、楽しみながら環境への負担の低減などについて、市民への啓発活動も行っています。